

ソフトボールの基本的なルール

●野球やソフトボールをまったく知らない人のための、ソフトボールの基本的なルールです。

【未経験者にルールを教えようとしている方へ】

- ・野球などを全く知らない人に、そのルールをどう教えたらよいのか、困ることがありますよね。そういうとき、この簡易的なソフトボールのルールをお役立てください。
- ・ゲームをするのに必要なルールを、重要なものから順に載せてありますので、最初から順に、少しずつ教えてあげてくださいね。

【これからルールを覚えたいと思っている未経験の方へ】

- ・野球やソフトボールのルールを覚えるのは大変だと思われるかもしれませんが、実はそうではありません。
- ・たしかに細かいルールはありますが、実際にプレーするのに必要なルールは案外少ないものです。
- ・最初からすべてを覚えようとするのではなく、プレーをしながら少しずつ覚えていくのが効率の良い覚え方だと思います。
- ・必要最小限のルールを覚えて、まずはゲームを楽しみましょう。
- ・ここにあるもの以外の細かいルールを知りたくなったときは、市販のルールブックをご覧になるなどしてくださいね。

ソフトボールの基本的なルール

ルール1: 投球のストライクとボール

- ・守備側のバッターに向かってボールを投げる人を**ピッチャー**(投手)と呼び、攻撃側のボールを打つ人を**バッター**(打者)と呼びます。
- ・ソフトボールでは、ピッチャーが投げたボール(以降「**投球**」と記述)をバッターがバットで打つことでゲームが進みます。
- ・投球をバッターが打たずに本塁を通過した場合、審判がそれを**ストライク**か**ボール**と判定し、その2種類の数をカウントします。
- ・ストライクが3つになると、バッターは**アウト**になり、次のバッターと打席を交代します。これを**三振(さんしん)**と呼びます。
- ・ボールが4つになると、バッターはファーストベース(以降「**1塁**」と記述)へ進むことができます。※これを**フォアボール**(四球)と呼びます。
- ・ストライクとカウントされるのは、上記のように投球がストライクゾーンを通過するか、あとで説明するファールボール(以降「**ファール**」と記述)になった場合や、バッターが打とうとしたけれどボールがバットに当たらなかった場合です。※これを**空振り(からぶり)**と呼びます。
- ・ストライクゾーンとは、バッターが打ちやすい範囲のことで、左右はホームベース(以降「**本塁**」と記述)の横幅で、上下はバッターの肩とヒザの間になります。※正確にはもっと厳密な規則がありますので、あとからルールブックで覚えてください。
- ・ファールとは、ルール2に示されるように打者が打ったボール(以降「**打球**」と記述)を審判がファールと宣言した場合で、2ストライクになるまでは、ストライクとカウントします。
- ・2ストライクより後は、ファールを何回打ってもストライクにはカウントされません。

●重要点

ストライク	・投球がストライクゾーンを通過したとき ・打球がファールだったとき(ただし2ストライクまで) ・空振りしたとき
ボール	・空振り以外で、投球がストライクゾーン以外を通過したとき
バッター・アウト	・ストライクが3つになったとき(三振)
フォアボール	・ボールが4つになったとき(フォアボール)

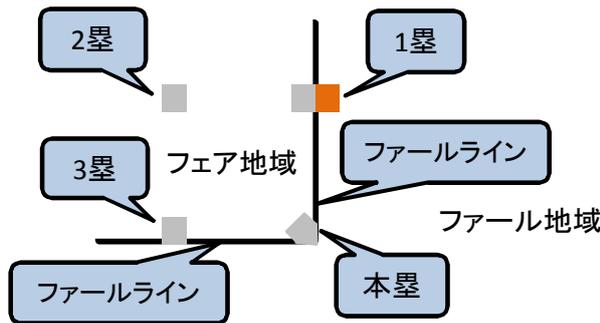
◆へたくそソフトボールの特別ルール

- ・3ボールのあとの投球がストライクゾーンに入らなくても、フルカウント(3ボール2ストライク)まではストライクとカウントすることがあります。※ストライクが入らないピッチャーを助けるためです。
- ・まだバッティングが上手でないバッターの場合、空振りして三振となる場合でもファールと判定することがあります。※バッターにもう1回打つチャンスを与えるためです。

ソフトボールの基本的なルール

ルール2: 打球のファールとフェア

- ・バッターがボールを打ったとき、その打球が地面に落ちると、それを**ファール**か**フェア**のどちらかに判定します。
- ・ファールの場合は打ち直すこととなります。(ストライクのカウントについてはルール1を参照)
- ・フェアとは、打球がフェア地域の外(=ファールラインの外)の地面に落ちた場合です。必ず審判が判定するので、審判がファールと宣言したものがファールで、それ以外はフェアだと考えてください。
※正確にはもっと厳密な規則がありますので、あとからルールブックで覚えてください。



●重要点

ファール	・ファールラインより外の地面に打球が落ちたとき ・審判がファールと判定したとき ・ファールの場合、バッターは打ち直す。
フェア	・ファールラインより内の地面に打球が落ちたとき ・フェアの場合、バッターは1塁へ走る。(ルール3参照)

ルール3: バッターのアウトとセーフ

- ・打球がフェアの場合、バッターは1塁に向かって走ります。
- ・そのとき、守備側のボールが1塁に届くより先に、バッターが1塁を踏めば**セーフ**となり、バッターは1塁に残ってランナーとなります。
- ・逆に守備側のボールが先に1塁に届くと、バッターは**アウト**になり、ベンチへ戻ります。
- ・また、打球が一度も地面に触れないうちに守備側が正しくキャッチ(以降「**捕球**」と記述)した場合は、その時点でバッターは**アウト**になります。

●重要点

バッター・アウト	・三振したとき(ルール1参照) ・打球がフェアのとき、バッターが1塁を踏むより先に守備側のボールが届いたとき ・打球が地面に落下する前に直接捕球されたとき
バッター・セーフ	・打球がフェアのとき、守備側のボールが届くより先にバッターが1塁を踏んだとき

◆へたくそソフトボールの特別ルール

- ・1塁は、白とオレンジの**ダブルベース**を使用しています。
バッターは**オレンジのベースを踏む**ようにし、守備側やランナーは白のベースを使います。
- ・ラビッツ球場では、正規の柵越えはテイク2ベースとして、安全に2塁まで進めます。

ソフトボールの基本的なルール

ルール4:ランナーの進塁と帰塁

- ・ランナーは、次のバッターがフェアの打球を打ったとき、1塁→2塁→3塁→本塁というように、順番にベース(塁)に触れながら進むことができます。(以降「進塁」と記述)
- ・1塁にいたランナー(以降「1塁ランナー」のように記述)は、守備側のボールが2塁に届くより先に、2塁を踏めばセーフとなりますが、守備側のボールが先に2塁に届くとアウトになります。
※これをホースプレーと呼びます。
- ・アウトになったランナーは、バッターのときと同様にベンチに戻ります。
- ・2塁ランナーや3塁ランナーは、その前のベースのすべてにランナーがいる場合に、上記と同様に次のベース(2塁ランナーなら3塁)に対して、ホースプレーとなります。
- ・つまり後から進塁してくるバッターやランナーに押し出されるためにそのランナーが進塁しなければならないとき、ホースプレーが成立します。
※後のランナーが先にアウトになるケースがありますが、ルール7で書きます。
- ・進塁中のランナーが、留まることができるベース上にいないとき、そのランナーに守備側がボールで触れた(以降「タッチ」と記述)とき、ランナーはアウトになります。
※これをタッチプレーと呼びます。
- ・ランナーだけでなく、フェアの打球を打ったバッターに対しても、タッチプレーが成立します。
- ・打球がファールの場合や、一度も地面に触れずに守備側が捕球した場合(バッター・アウト)は、ランナーは進塁できませんので、元のベースに戻る必要があります。
※タッチアップという例外がありますが、ルール6で書きます。
- ・そのとき、ファールならアウトにならずに直接戻れますが、守備側が直接捕球した場合には、ランナーが次のベースを踏んでいたなら、そのベースを踏み直して戻らないといけません。
- ・つまり、本塁→3塁→2塁→1塁の順番でベースに触れて戻ります。(以降「帰塁」と記述)
- ・帰塁のとき、ランナーが元のベースに戻るより先に守備側のボールが届くと、アウトになります。
- ・帰塁のときも、途中でタッチされればアウトになります。(タッチプレーは有効)

●重要点

進塁	・打球がフェアのときだけ進塁できる。 ・進塁のときは、1塁→2塁→3塁→本塁の順にベースに触れなければならない。
帰塁	・打球がファールのときは、元のベースに戻らなければならない。 (直接かつ安全に戻るができる。) ・打球が地面に落下する前に直接捕球されたときは、元のベースに戻らなければならない。 そのときは、本塁→3塁→2塁→1塁の順にベースに触れなければならない。
ホースプレー	・後のバッターやランナーが元のベースに進塁する必要があって、押し出されるように進塁しなければならないランナーは、守備側のボールが届くより先に次のベースに触れないと、アウトになる。 ・打球が地面に落下する前に直接捕球されて帰塁しなければならないときは、守備側のボールが届くより先に元のベースに触れないと、アウトになる。
タッチプレー	・進塁中のランナーが留まることができるベース上にいないとき、守備側がそのランナーに対してボールでタッチすると、アウトになる。 ・帰塁中やフェアの打球を打ったバッターの場合も同様に、タッチプレーが有効になる。

◆へたくそソフトボールの特別ルール

- ・進塁のときの1塁や本塁は当然ですが、2塁や3塁また帰塁のときも、留まる予定のベースを駆け抜けられます。つまり、タッチされてもアウトになりません。
- ・これは安全のためにランナーの意図的なスライディングを禁止(アウトになる)したため、急にベース上に停止しなければならないことによる事故を防ぐのが目的です。
- ・同様に、守備側との接触を避けるためにも、無理にベースに触れなくてもよく、可能な範囲でベースに近いところを駆け抜ければ良いことになっています。

ソフトボールの基本的なルール

ルール5: 試合の進行

- ・試合(ゲーム)は、対戦する2つのチームが、守備側と攻撃側を交互に繰り返しながら進められます。
- ・1回の攻撃と守備(あるいは守備と攻撃)のセットを、**イニング**(回)と呼びます。
- ・1つのイニングの前半を表(おもて)と呼び、後半を裏(うら)と呼びます。
- ・アウトの数が3つになった時点で守備側と攻撃側が交代(以降「**チェンジ**」と記述)します。
- ・チェンジまでに、ランナーが本塁を踏んだ数が得点となり、試合が終わるまで加算されます。
- ・試合は、7イニング(回)が終了するか、制限時間が来るまで行われます。
- ・試合が終了した時点で、より多い得点のチームが勝ちになります。
- ・最後のイニングの表が終わったとき、裏の攻撃をするチームの方の得点が多い場合、裏の攻撃を行わずに試合を終了させます。(勝つチームが決まっているため)

●重要点

試合(ゲーム)	<ul style="list-style-type: none">・表と裏からなるイニングで、双方のチームが攻撃と守備を繰り返して行う。・7イニングが終わるか制限時間まで、その繰り返を行い、最終的に得点の多いチームが勝ちとなる。・攻撃側のアウトが3つになったとき、攻撃と守備をチェンジする。・試合の最後のイニングの裏になったとき、攻撃するチームが勝っていたら、そこで試合を終了する。
---------	---

◆へたくそソフトボールの特別ルール

- ・試合は基本的に7イニングまで行いますが、制限時間を採用しているので、たいていは制限時間によって試合が終了となります。
- ・通常は、制限時間を超えたら次のイニングに入らない、という方式を適用しています。

ルール6: タッチアップ

- ・ルール4で書いたように、地面に落下する前の打球を守備側が直接捕球したときは、ランナーは進塁できず、元のベースに帰塁しなければなりません。
- ・ただし、直接捕球した後であれば、ボールがピッチャーに戻るまでの間、元の塁を離れて空いている次のベースへ進塁することが可能です。
- ※これを**タッチアップ**と呼びます。
- ・タッチアップしたランナーをアウトにするには、守備側はボールでタッチ(タッチプレー)する必要があります。
- ・直接捕球よりも早くランナーがベースを離れたときはタッチアップが成立しませんが、守備側がアピールしなければアウトにはなりません。
- ・その場合、守備側がボールを元のベースに戻して審判にアピールすることで、審判はアウト(離塁が早い)かセーフ(離塁が早くない)の判定をすることになります。
- ※これを**アピールプレー**と呼びます。

●重要点

タッチアップ	<ul style="list-style-type: none">・次のベースが空いているランナーは、地面に落下する前の打球を守備側が直接捕球した後、離塁して、そのボールがピッチャーに戻るまでの間に進塁することができる。・タッチアップした場合はタッチプレーとなる。・守備側がランナーの元のベースにボールに戻してアピールした場合、審判はアウト(タッチアップ不成立)かセーフ(成立)の判定をする。
--------	---

ソフトボールの基本的なルール

ルール7: ホースプレーかタッチプレーか

- ・ルール4で書いたように、バッターがフェアの打球を打ったとき、後のランナーやバッターが進塁しなければならないベースにいたランナーは、押し出されるように次のベースに進塁しなければならないとなります。(ホースプレー)
- ・しかし、先に後のランナーやバッターがアウトになった場合は、先のベースにいたランナーは、その次のベースに進む必要性がなくなるため、押し出されなくなります。したがって、**ホースプレーではなく、タッチプレー**になります。

[例]

ノーアウト1塁2塁でショートゴロのとき、ボールが2塁に送られて1塁ランナーがアウトになると、2塁ランナーは2塁にとどまることが可能になる。
したがって、もし2塁ランナーが3塁に進もうとしていたら、そのランナーをアウトにするには、ボールをサードに送ってタッチすることが必要になる。(タッチプレー)

●重要点

ホースプレー ↓ タッチプレー	・ベースが詰まっているとき、後続のランナーやバッターが先にアウトになると、先行するランナーは進塁する必要性がなくなるため、タッチしなければ先行するランナーをアウトにできなくなる。
-----------------------	---